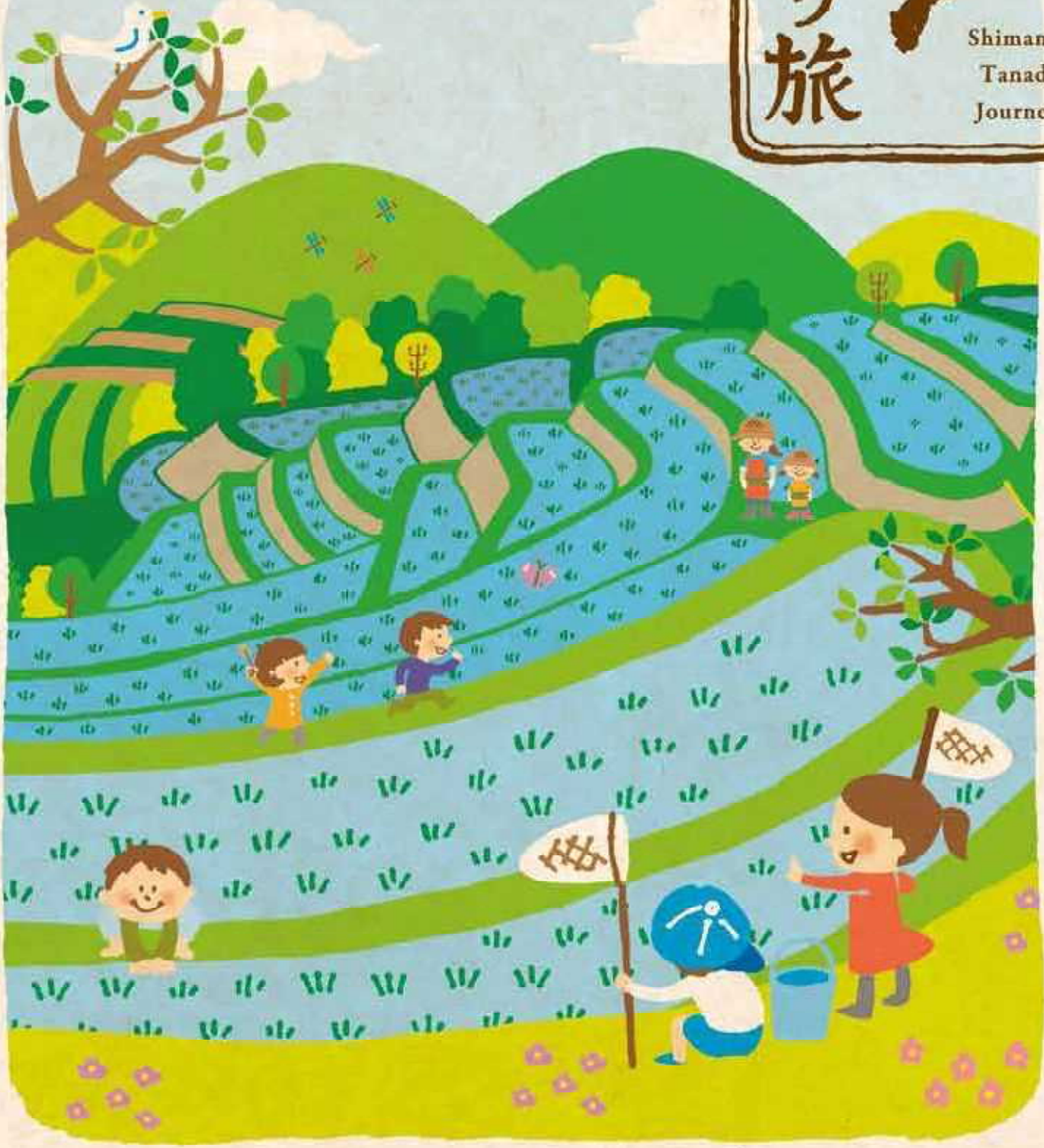
しまね棚田めぐり旅

Shimane Tanada Journey

遠い記憶の風景に出会える旅へ



しまね棚田めぐり旅

大井谷（おおいだに）

吉賀町（よしかちょう）

日本の棚田百選

大井谷は、古文書「吉賀記」によると、今からおよそ600年前に大内氏（山口）に仕えた三浦一族がこの地に入り、開拓したのが始まりと言われています。以来、室町時代から江戸時代にかけてつくられた棚田が今も600枚以上残っています。

地域全戸が参加する「助（たすけ）はんどうの会」では、棚田オーナー制度や棚田まつりを通じた都市住民との交流に取り組み、棚田を活かした地域づくりを進めています。

▲棚田まつり

助（たすけ）はんどう

大井谷地区の一番上の屋敷の横に据えてある直径1.2m、深さ30cmの石の水がめのことで、その昔干ばつの時にここだけにわずかに溜まる水を飲んで住民が生き延びたことから「助（たすけ）はんどう」と呼ばれるようになりました。はんどうとは「水がめ」のことです。

▶柿木小学生による田植え

棚田オーナー

【募集数】25区画程度（随時募集）
【作　業】田植え（5月中旬）・草取り（6月下旬）・稲刈り（9月中旬）
【料　金】基本料金：36,000円/年
　　面積によって変わります（基本面積100㎡）
【特　典】収穫米（約30kg）、農産物の宅配など

田植えや稲刈り体験ができる！

棚田トラスト

【募集数】無制限　【料　金】1口10,000円（棚田の保全に使います。）
【特　典】棚田米5kg（1口あたり）など

助（たすけ）はんどうの会

60年前に先祖が築いた棚田を「自分の代で荒らしてはならぬ」という思いで耕し続け、次の世代に受け継ぐために棚田保全に努めてきました。

棚田オーナーや棚田まつりでの来訪者との交流等を通して、厳しい農作業も楽しくできるようになり、棚田が自分たちの宝物になりました。

DATA

【所 在 地】鹿足郡吉賀町柿木村白谷
　　「JR益田駅」から車で約60分　中国自動車道「六日市IC」から車で約40分
【保全組織】助はんどうの会
【問合せ先】吉賀町産業課☎0856-79-2213
【吉賀町ホームページ】http://www.town.yoshika.lg.jp/

【概　要】田畑の枚数：639枚　面積：8.2ha
　　農家数：14戸　起源：室町時代～
【イベント】棚田まつり
【棚田米】大井谷棚田米
　　問合せ先：道の駅かきのきむら☎0856-79-8024

しまね棚田めぐり旅

中垣内

なかがうち

益田市

ますだし

日本の棚田百選

万葉の歌人「柿本人麿」の歌にもでてくる打歌山（うつうたやま）
【大道山の別名】の中腹にひろがる石積の棚田です。

棚田を守る会

高齢化による担い手不足などにより集落の農家だけでは集落の景観や棚田の維持が難しくなってきました。そんななか平成17年から棚田オーナー制度に取り組んでいます。

棚田の維持だけでなく地区外の住民との交流を行いながら、オーナーの皆さんと農作業を楽しみ、農地を守り、集落の活性化につなげていきたいと頑張っています。

棚田オーナー

あなたも「打歌村」の村民になってみませんか

【入村資格】農業に積極的に取り組む姿勢のある方
自然を愛し、農村に親しみを持って活動していただける方
地域の人と仲良く活動していただける方
共同作業などに積極的に参加していただける方
【入村コース】お米もらえるコース9,000円/玄米30kg

DATA

【所 在 地】益田市中垣内町
「JR益田駅」から車で約25分　中国自動車道「六日市IC」から車で約90分
【保全組織】棚田を守る会
【問合せ先】益田市農業振興課☎0856-31-0675
【益田市ホームページ】http://www.city.masuda.lg.jp/

【概　要】田畑の枚数：376枚　面積：6.2ha
農家数：14戸
起源：平安時代～室町時代

しまね棚田めぐり旅

室谷（むろだに）

浜田市（はまだし）

日本の棚田百選

今年も棚田には黄金色に輝く稲穂が実り、その向こうには日本海の大海原が望めます。

江戸時代以前の鉄穴（かんな）流しによって出来た、たくさんの窪地を水田にしたものが棚田の始まりだと思われます。大麻山神社の庭園と大麻山麓には「石郷路（いしごうろ）」と呼ばれる石英閃緑岩の岩海が点在し遊歩道で散策できます。大麻山の麓に広がる棚田と日本海を眺望できます。

棚田まつり

【時　期】10月中旬～下旬の日曜日
【内　容】棚田散策会、石見神楽、お米・野菜の販売など

私たちは、棚田を耕し土づくりに励み、美味しいお米が収穫できるよう努めています。棚田と自然に囲まれた地形のなか、人々が室谷を訪れ、棚田を愛でる。それが棚田を守る原動力となっています。そんな室谷は今日も元気です。
是非、見どころいっぱいの室谷にお出掛けください。

両谷連合自治会長
中川　登

▲室谷の棚田米

室谷棚田シンボルマーク
石正美術館作成

DATA

【所 在 地】浜田市三隅町室谷
浜田自動車道「浜田IC」から車で約30分
【保全組織】両谷連合自治会
【問合せ先】浜田市三隅支所産業課☎0855-32-2803

【概　要】田畑の枚数：約1,000枚　面積：20ha
農家数：60戸　起源：江戸時代以前～
【イベント】棚田まつり
【棚田米】室谷の棚田米
問合せ先：米作り研究会代表 齋藤久行☎0855-34-0856

平成24年度
美の里づくりコンクール
審査会特別賞
受賞

しまね棚田めぐり旅

都川

つかわ

浜田市

はまだし

日本の棚田百選

棚田の石垣の維持管理はたいへんです。石垣に生えた雑草を放置すると石垣がもろくなり崩れます。大切な棚田を守るため、年に3回の手作業で草取りをしています。

今からおよそ200年前、たたら製鉄が目的で鳥取城からやって来た侍によって作られたと言われています。そこには鳥取城の石垣を作った技術が応用され、長い間、夏はたたら製鉄、冬は棚田作りを繰り返した結果、今日のような美しい石垣の棚田が完成しました。

特に都川の石垣は高さ3m～4mを越えるものも多く存在し、まるで城壁のように整然と佇み、重厚な石垣景観をみせています。

一言ポイント

今からおよそ800年前、戦に負け京都から落ちのびてきた夫婦が、この地に移り住み、そこを流れる川が京都の加茂川に似ていたことから、この地を『都川（つかわ）』と呼び、川を『都川（みやこがわ）』と呼ぶことにしました。これが都川の始まりといわれています。

縁側喫茶▶

DATA

【所 在 地】浜田市旭町都川
浜田自動車道「旭IC」から車で約20分
【問合せ先】浜田市旭支所産業課☎0855-45-1436

【概　要】田畑の枚数：約200枚　面積：6.7ha
農家数：11戸　起源：江戸時代
【イベント】縁側喫茶（5～11月・第1・3日曜日）

平成24年度
美の里づくりコンクール
農林水産大臣賞
受賞

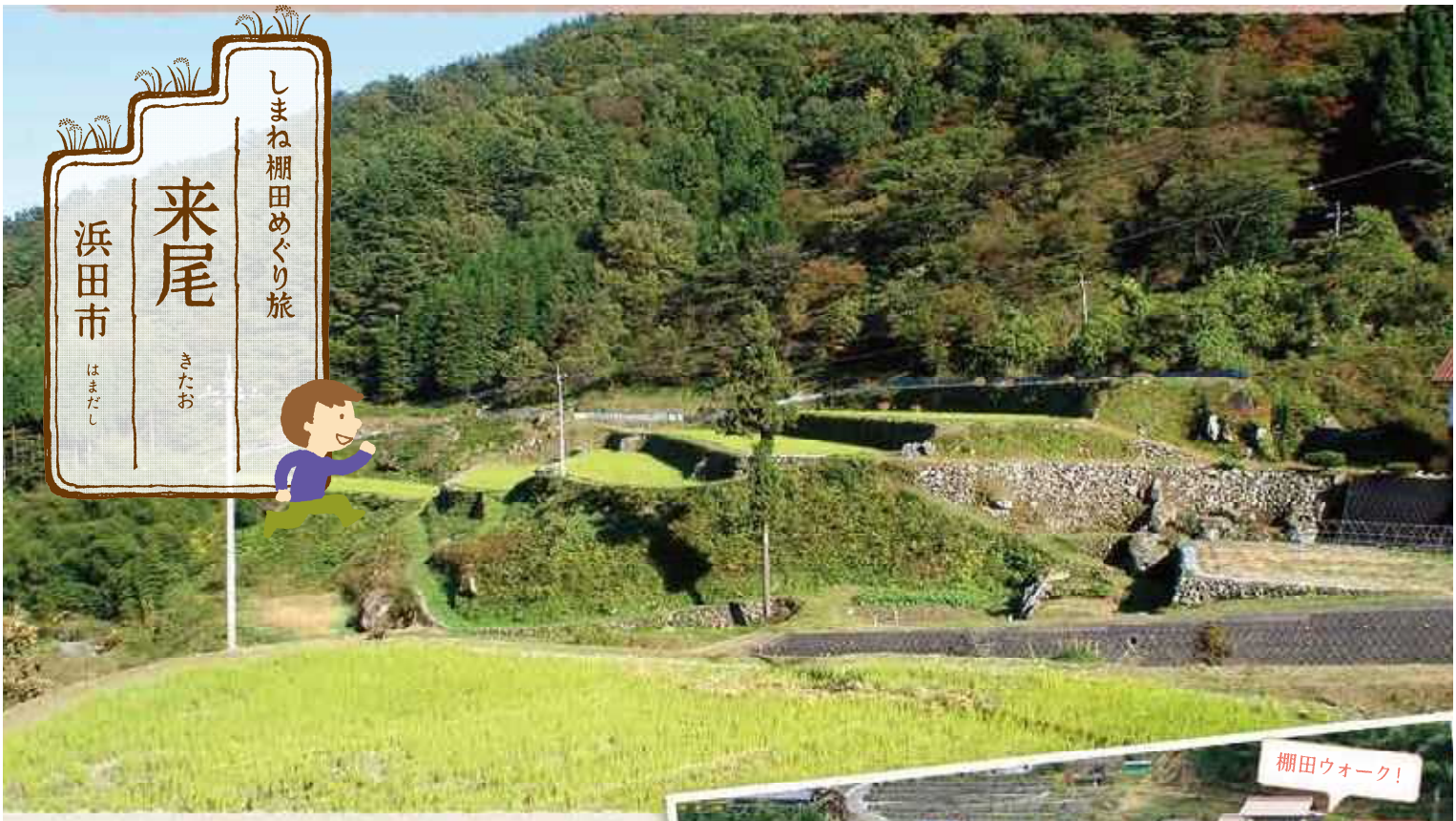
しまね棚田めぐり旅

来尾

きたお

浜田市

はまだし



来尾地区は山の斜面が急なため、石を積み上げて田んぼを造らないと面積がとれないことから、昔の人々が苦労して造り上げたのがこの棚田です。棚田は昔の人々の知恵の結集なのです。

ほたるこい祭り

来尾川沿いに約1.2kmに渡って200個のあんどんが並びます。地元小学生と高齢者の手作りのあんどんとホタルのやさしい光が幻想的な夜を演出します。

工夫された石垣

石垣は大小の石を組み合わせて築いてあります。山の斜面が急な来尾地区では石垣が高く、高さが3m～5mあるものもあります。中には、階段になるように石を突き出して積み上げている石垣もあります。

DATA

【所 在 地】浜田市旭町来尾
浜田自動車道「瑞穂IC」から車で約20分
【問合せ先】浜田市旭支所産業課☎0855-45-1436

【概　要】田畑の枚数：約200枚　面積：約7ha
農家数：17戸　起源：江戸時代
【イベント】ほたるこい祭り（6月）